

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】令和6年3月6日(2024.3.6)

【公開番号】特開2022-50560(P2022-50560A)
 【公開日】令和4年3月30日(2022.3.30)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-056
 【出願番号】特願2022-1526(P2022-1526)
 【国際特許分類】

D 2 1 H 19/20(2006.01)

10

D 2 1 H 19/18(2006.01)

D 2 1 H 21/16(2006.01)

【FI】

D 2 1 H 19/20

D 2 1 H 19/18

D 2 1 H 21/16

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月27日(2024.2.27)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

120秒コップ吸水度が 5 g/m^2 以上 20 g/m^2 未満、王研式平滑度が1.3秒以上である紙基材上に防水剤を塗工した塗工層を有する防水紙であって、

前記防水紙は、30分でのコップ吸水度が 25 g/m^2 以下であり、防水剤が、スチレン系樹脂、アクリル系樹脂、ポリオレフィン樹脂の少なくとも1つおよびワックスを含有する、防水紙。

30

【請求項2】

前記塗工層の塗工量が $4\sim 20\text{ g/m}^2$ である、請求項1に記載の防水紙。

【請求項3】

透湿度が $50\text{ g/m}^2\cdot 24\text{ h}$ 以下である、請求項1または2に記載の防水紙。

【請求項4】

前記防水剤が、スチレン系樹脂、アクリル系樹脂の少なくとも1つおよびワックスを含有する、請求項1～3のいずれかに記載の防水紙。

【請求項5】

前記紙基材の透湿度が $1500\text{ g/m}^2\cdot 24\text{ h}$ 以上である、請求項1～4のいずれかに記載の防水紙。

40

【請求項6】

前記紙基材の王研式平滑度が1.5秒以上である、請求項1～5のいずれかに記載の防水紙。

【請求項7】

前記紙基材の少なくとも片面に撥水剤が塗布されており、紙基材の撥水度がR4以上である、請求項1～6のいずれかに記載の防水紙。

【請求項8】

紙基材が、多層抄きの板紙である、請求項1～7のいずれかに記載の防水紙。

【請求項9】

50

防水紙のコップ吸水度が、120秒で 3 g/m^2 以下、かつ、30分で 20 g/m^2 以下であり、紙基材の撥水度がR6以上である、請求項1～8のいずれかに記載の防水紙。

【請求項10】

120秒コップ吸水度が 5 g/m^2 以上 20 g/m^2 未満、王研式平滑度が13秒以上である紙基材上に防水剤を塗工することを含む、防水紙の製造方法であって、

前記防水紙は、30分でのコップ吸水度が 25 g/m^2 以下であり、防水剤が、スチレン系樹脂、アクリル系樹脂、ポリオレフィン樹脂の少なくとも1つおよびワックスを含有する、上記方法。

10

20

30

40

50